

食育セミナーNo,70 ご存知ですか?日本の自給率問題 その3

日本の食料自給率は、カロリーベースで39%と低くなっています。これには食生活の変化が影響しています。

平成24年度の1人あたりの1日摂取カロリーは、昭和40年の2,459キロカロリーとほとんど変わっていませんが、1人あたりの食事内容を見ると、**米の消費が5分の3に減少**しています。その一方で輸入農産物に依存している**肉類や油脂類の消費量が増加**していることで自給率が低下しています。

米の消費量が減少している原因、パンやパスタなどの食事の欧米化によるものだけではなく、**日本の農業の生産力が低下していることも問題**となっています。



近年、農村部から都市部へと人口が流出したことで、昭和35年には1340万人であった農林水産就業者は、平成24年には240万人と減少し、平均年齢は66.1歳（平成22年度）と高齢化が進んでいます。その結果、**耕作放棄地が拡大**するなど、日本の**農業生産力が大きく低下**しています。

日本の食料自給率や食の大切さについて考えましょう。

（フード・アクション・ニッポン「FAN」より）